

令和 6 年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	27	学校名	静岡県立富士宮東高等学校	校長名	鈴木 香
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己管理能力育成のため、心身の健康の増進と基本的な生活習慣の確立を図る。	高校生としての生活・学習の習慣が身に付いたと答える生徒 90%以上	94%	A	目標はおおむね達成できた。定期試験に準備をして臨むという成果目標は、生徒の自主的な家庭学習を促すための成果目標であった。引き続き、目標を上回る成果を上げるべく、生徒にきめ細かな指導を行っていく。学校評議員会で、講座や会議の開催回数等は、成果目標ではなく目標達成の手段ではないかというご意見をいただいたので、次年度の成果目標設定に反映させる。
		しっかりと準備をして定期試験に臨めたと答える生徒 70%以上	71.8%		
		基本的な生活習慣を身に付けるための適切な指導がされていると答える生徒・保護者 95%以上	98%		
		交通安全に関する講座等 年2回以上	○		
		交通ルールが守れていると答える生徒 100%	98.9%		
		各種アンケートやハイパーQ U テストの結果による面談等の実施	○		
		教育相談チームの情報共有 月1回以上	○		
イ	基礎学力の定着に加え、主体的・探究的に学ぶ姿勢を培う。	授業が分かると答える生徒 95%以上	91.2%	B	宮東力（本校生徒に身につけさせたい7つの力）や探究力の向上、読書など、主体的な学びに向かう力が向上したとする成果の反面、自主学習の習慣がついたとする生徒の割合や、学びの基礎診断「スタディサポート」の国数英総合判定の数値目標については、未達成であった。次年度は、成果目標を生徒の実態に合わせ、基礎学力の定着に努める。
		生徒の宮東力自己評価向上	84.8%		
		授業改善のための授業参観・校内研修等、年間3回以上	○		
		スタディサポートにおける国数英総合判定でC 1以上の生徒 50%以上	29.7%		
		探究力が向上したと自己評価する生徒 60%以上	87.8%		
		探究チームの企画会議 月1回以上	○		
		自主的な学習の習慣が身に付いたと答える生徒 85%以上	73.7%		
		課題の量と質が適切であったと答える生徒 70%以上・教員 80%以上	生徒 88% 教員 87.2%		
		興味を持てる本に出会えたと答える生徒 50%以上	82.4%		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	主体的な活動を促し、他者との関わりの中で成長を実感できる機会を創出する。	生徒会や委員会・係活動を通して、集団に貢献することができた答える生徒 90%以上	78.7%	B	「集団に貢献することができた」とする生徒の達成状況が成果目標に到達していないのは、生徒アンケートの問いに回答しにくい部分があったためだと思われる。今年度は問い方を改善する。部活動についても、全員加入は1年生のみであるが、達成状況アンケートには、未加入者も回答する形式になっていたため、問い方を改善する。引き続き、生徒には主体的な学校行事や部活動への参加を促す。
		学校行事に積極的に参加したと答える生徒 95%以上	95.7%		
		部活動に積極的に参加したと答える生徒 95%以上	93.3%		
		地域との連携やボランティア活動へ参加する生徒 70%以上	77.8%		
		部活動ボランティア実施部活動率 100%	100%		
エ	進路選択に関する指導の充実を図る。	進路目標達成のために努力していると答える生徒 90%以上	88.5%	B	目標は概ね達成したが、進学指導を先頭に立つて行う「特進サポートチーム」の活用が課題である。教員は教育支援ツールを生活指導、進路指導に活用し、生み出された時間をその他の指導に効果的に充てられることとなった。
		進路指導に満足していると答える生徒・保護者 90%以上	91.7%		
		特進サポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上	△		
		キャリアサポートチームの情報共有・企画会議 月1回以上	○		
		進路シラバスや教育支援ツールを面接や生活・進路指導に活用した教員 80%以上、生徒 80%以上	生 82% 教 87.2%		
オ	学科やコースの特色を生かし、福祉の心や芸術に親しむ豊かな感性を醸成する。	福祉フェアの来場者、前年比増	カウントせず	A	本校の特色である、普通科アートコースと福祉科とは、それぞれ地域交流、地域連携に力を入れている。特に、「福祉フェア」は、福祉科の学びを地域にPRして、介護福祉のイメージアップを図るもので、今年度が3回目の開催となるが、富士宮市の子ども向けイベントと同時に市内のショッピングモールで開催したため、来場者数を数えなかった。次年度は、更に発展させ、本校で介護教室を実施予定である。
		地域・施設・他校との連携年5回以上	○		
		介護実習が充実していたと答える生徒 100%	96.7%		
		介護福祉士国家試験の合格率 100%	100% (R05)		
		進路実現目標達成率 80%以上	75%		
		校外作品展・コンテスト等への出品率 100%及び受賞 20件以上	100%		
		アートコース作品展への来場者 700名以上 (740人)	100%		
		地域機関からの依頼作品作成及び地域との連携 5件以上 (8件)	100%		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
カ	地域を愛する心を育てるとともに、地域や保護者から信頼される魅力ある学校を目指す。	学校からの情報発信を通して、学校での生徒の様子がわかると答える保護者 80%以上	97.3%	A	学校ホームページによる情報発信は 174 回、SNS による情報発信は 800 回を超えた。また、オープンスクール、体験入学等の参加者アンケートによると、「参加してよかった」と回答した参加者は 98%を超え、参加者の満足度が高い。次年度もプログラムに工夫を凝らし、満足度が高い学校公開を行っていく。
		学校HPやSNSによる情報発信 年 500 回以上	○		
		中学生一日体験入学、オープンスクールに参加してよかったと答える参加者 80%以上 (オープンスクール春 100%、秋 99%、体験入学 96%)	○		
キ	安全教育を推進し、安心安全な教育環境の整備・美化に努める。	災害時の学校の対応を理解し、自分にできる準備をしていると答える生徒 95%以上	90.8%	B	防災教育の柱として実施している防災訓練は、今年度は生徒に事前通達を行わずに抜き打ちで行うなど、防災意識を高める工夫をしている。しかし、災害時の対応について、まだ指導の余地があるため、次年度は改善する。
		校内美化が保たれていると答える生徒 90%以上	92.3%		
		学校の施設設備は安全に配慮されていると答える生徒 95%以上	94.7%		
		施設設備に係る生徒事故 0 件	0 件		
ク	常に進化し続ける学校であるために、教職員の資質向上と働き方の改善を図る。	信頼できる先生がいると答える生徒 90%以上	91.7%	A	生徒と教員の信頼関係は強く、課題発生時の迅速で丁寧な対応につながっている。定時退勤日は、設定したものの、遵守に課題が残ったので、次年度は定時退勤日の設定を改善する。
		教職員不祥事 0 件	0 件		
		教職員ストレスチェック結果の向上 (B 普通)	○		
		定時退勤日の設定	○		
		夏季休暇取得率 100%	98%		